



取扱説明書

機種名称

フィルタレギュレータ

型式 / シリーズ

AW30-(F, N) 02～(F, N) 04 (C)-2 (R)-X2622 (A, B, C)
AW40-(F, N) 02～(F, N) 06 (C)-2 (R)-X2622 (A, B, C)

SMC株式会社

目次

	ページ
1. 安全上のご注意	2~5
2. 用途	6
3. 仕様	6
4. 型式表示方法	7
5. 故障と対策	8
6. 構造図/パーツリスト	9
7. 交換作業要領	10~11
8. 分解図	12~13
9. 外形寸法図	14



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「注意」「警告」「危険」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、国際規格（ISO/IEC）、日本産業規格（JIS）^{※1} およびその他の安全法規^{※2}）に加えて、必ず守ってください。

※1) ISO 4414: Pneumatic fluid power -- General rules and safety requirements for system and their components

ISO 4413: Hydraulic fluid power -- General rules and safety requirements for system and their components

IEC 60204-1: Safety of machinery -- Electrical equipment of machines (Part 1: General requirements)

ISO 10218-1: Robots and robotic devices - Safety requirements for industrial robots - Part 1: Robots

JIS B 8370: 空気圧-システム及びその機器の一般規則及び安全要求事項

JIS B 8361: 油圧-システム及びその機器の一般規則及び安全要求事項

JIS B 9960-1: 機械類の安全性 - 機械の電気装置(第1部: 一般要求事項)

JIS B 8433-1: ロボット及びロボティックデバイス—産業用ロボットのための安全要求事項-第1部: ロボット

※2) 労働安全衛生法 など



危険

切迫した危険の状態、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



警告

取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



注意

取扱いを誤った時に、人が傷害を負う危険が想定される時、および物的損害のみの発生が想定されるもの。



警告

- ①当社製品の適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。
ここに掲載されている製品は、使用される条件が多様なため、そのシステムへの適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。このシステムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した人の責任になります。常に最新の製品カタログや資料により、仕様の全ての内容を検討し、機器の故障の可能性についての状況を考慮してシステムを構成してください。
- ②当社製品は、充分な知識と経験を持った人が取扱ってください。
ここに掲載されている製品は、取扱いを誤ると安全性が損なわれます。
機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは充分な知識と経験を持った人が行ってください。
- ③安全を確認するまでは、機械・装置の取扱い、機器の取外しを絶対に行わないでください。
 1. 機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置などがなされていることを確認してから行ってください。
 2. 製品を取外す時は、上記の安全処置がとられていることの確認を行い、エネルギー源と該当する設備の電源を遮断するなど、システムの安全を確保すると共に、使用機器の製品個別注意事項を参照、理解してから行ってください。
 3. 機械・装置を再起動する場合は、予想外の動作・誤動作が発生しても対処できるようにしてください。
- ④当社製品は、製品固有の仕様外での使用はできません。次に示すような条件や環境で使用するには開発・設計・製造されておりませんので、適用外とさせていただきます。
 1. 明記されている仕様以外の条件や環境、屋外や直射日光が当たる場所での使用。
 2. 原子力、鉄道、航空、宇宙機器、船舶、車両、軍用、生命および人体や財産に影響を及ぼす機器、燃焼装置、娯楽機器、緊急遮断回路、プレス用クラッチ・ブレーキ回路、安全機器などへの使用、およびカタログ、取扱説明書などの標準仕様に合わない用途の使用。
 3. インターロック回路に使用する場合。ただし、故障に備えて機械式の保護機能を設けるなどの2重インターロック方式による使用を除く。また定期的に点検し正常に動作していることの確認を行ってください。



安全上のご注意

注意

当社の製品は、自動制御機器用製品として、開発・設計・製造しており、平和利用の製造業向けとして提供しています。製造業以外でのご使用については、適用外となります。

当社が製造、販売している製品は、計量法で定められた取引もしくは証明などを目的とした用途では使用できません。

新計量法により、日本国内でSI単位以外を使用することはできません。

保証および免責事項/適合用途の条件

製品をご使用いただく際、以下の「保証および免責事項」、「適合用途の条件」を適用させていただきます。下記内容をご確認いただき、ご承諾のうえ当社製品をご使用ください。

『保証および免責事項』

- ①当社製品についての保証期間は、使用開始から1年以内、もしくは納入後1.5年以内、いずれか早期に到達する期間です。^{*3)}
また製品には、耐久回数、走行距離、交換部品などを定めているものがありますので、当社最寄りの営業拠点にご確認ください。
- ②保証期間中において当社の責による故障や損傷が明らかになった場合には、代替品または必要な交換部品の提供を行わせていただきます。なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は、保証の対象範囲から除外します。
- ③その他製品個別の保証および免責事項も参照、ご理解の上、ご使用ください。

※3) 真空パッドは、使用開始から1年以内の保証期間を適用できません。

真空パッドは消耗部品であり、製品保証期間は納入後1年です。

ただし、保証期間内であっても、真空パッドを使用したことによる摩耗、またはゴム材質の劣化が原因の場合には、製品保証の適用範囲外となります。

『適合用途の条件』

海外へ輸出される場合には、経済産業省が定める法令(外国為替および外国貿易法)、手続きを必ず守ってください。

設計上のご注意

⚠ 警告

- ① 周囲雰囲気上、漏れが許容できない場合は使用できません。また、空気以外の流体もご使用できません。
- ② シンナー、アセトン、アルコール、塩化エチレンなどの有機溶剤、硫酸、硝酸、塩酸などの化学薬品、切削油、合成油、エステルベースのコンプレッサー油、アルカリ、灯油、ガソリン、ねじロック剤などの雰囲気または、付着する場所では使用しないでください。
- ③ 紫外線が当たる場所や周囲に熱源がある場合には、紫外線や輻射熱を遮蔽してください。
- ④ 設定圧力値を超えた出力圧が出口側装置・機器の破損や作動不良を招くことがある場合は、必ず安全装置を取付けてください。

⚠ 注意

- ① 仕様範囲外での使用はできません。
- ② 排気ポートからの空気消費量は、0.1L/min (ANR) 以下を許容しています。

選 定

⚠ 警告

- ① 内部の摺動部やパッキンなどにグリスを使用していますので、出口側に流出する場合があります。
- ② 逆流機能が付いていないので、入口圧力を抜いても使用条件などにより、残圧処理が不安定(できる時とできない時有り)となります。
- ③ 長時間エアを消費しない時や出口側を密封回路及びバランス回路で使用する場合に、出口側設定圧力の変動が起こることがあります。
- ④ 出口圧力の設定範囲は、入口圧力の85%以下で行ってください。85%を超えた設定で使用しますと流量や入口圧力の変動の影響を受け易く不安定になります。
- ⑤ 仕様に示す設定圧力範囲の最大値には多少の余裕を持たせていますので、圧力設定はこの最大値以上になることがあります。
- ⑥ 高精度の排気感度や設定精度を要求される回路では使用できません。
- ⑦ N.C.タイプのオートドレンは、作動不良を避けるため、使用圧力:0.15MPa以上でご使用ください。

取 付

⚠ 警告

- ① 空気の入入り口を示す“IN”と“OUT”または、矢印を確認して接続してください。逆接続は誤作動の原因となります。
- ② ドレンの排出口が下になるように、垂直に取付けてください。作動不良の原因になります。横向きや上向きでは使用できません。
- ③ 製品の上・下・前には、メンテナンスや操作のためのスペースを設けてください。スペースについては、「9. 外形寸法図」を参照ください。
- ④ 運搬及び取付け時に落下などによる衝撃は加えないようにしてください。製品の破損や圧力計の示度精度不良などの原因になります。
- ⑤ 取付け場所は、湿度及び温度の高い場所には使用しないでください。仕様範囲外でのご使用は、製品の破損や作動不良の原因となります。

調 整

⚠ 警告

- ① 圧力設定は、入口圧力と出口圧力を確認しながら行ってください。必要以上に調圧スクリュを回し過ぎますと内部部品の破損原因となります。
- ② 調圧スクリュの操作にはスパナを使用してください。適用スパナは「9. 外形寸法図」を参照ください。

⚠ 注意

- ① 破損防止のため圧力計の最大目盛り以上に圧力が加わらないようにしてください。

- ② 圧力設定は、上昇方向で行ってください。下降方向で行くと当初の設定圧力より低下することがあります。調圧スクリュ右回転(時計回り)で設定圧力上昇、左回転(反時計回り)で設定圧力下降となります。また、圧力設定後はロックナットで調圧スクリュをロックしてください。

AW30:適用スパナ 呼び:10 / 推奨締付トルク:M6=2.6 N・m

AW40:適用スパナ 呼び:13 / 推奨締付トルク:M8=6.2 N・m

- ③ 圧力設定後に入口圧力を除去し、再供給すると出口圧力が上昇する現象が発生することがあります。この場合、出口側でエアが一旦消費されると元の設定圧力近くになります。
- ④ 長時間使用していると出口圧力が変動することがあります。定期的に設定圧を確認してください。

配 管

⚠ 警告

- ① 配管前に配管などのフラッシング或は洗浄を十分行い、管内の切粉、切削油、固形異物などを除去してください。これらが、管内に残っていると作動不良の原因になります。
- ② 配管や継手類をねじ込む場合には、配管ねじの切粉やシール材が機器内部に入り込まないようにしてください。なお、シールテープを使用される場合は、ねじ部を1山残して巻いてください。
- ③ 配管材のねじ込みは、めねじ側を保持して推奨適性トルクで行ってください。締付トルクが不足していると緩みやシール不良の原因となり、締付トルクが過大ですとねじ破損などの原因となります。また、めねじ側を保持しないで締付けを行いますと配管ブラケットなどに直接過大な力が作用し、破損などの原因となります。

推奨締付トルク 単位:N・m

接続ねじ	1/4	3/8	1/2	3/4
トルク	8~12	15~20	20~25	28~30

- ④ 当社の管継手、Sカップラーをねじ込む場合は、管継手&チューブ/共通注意事項の接続ねじの締込方法をご参照ください。
- ⑤ 機器の自重以外のねじりモーメント、曲げモーメントがかからないようにしてください。破損の原因になりますので、外部配管類は別に支持してください。また、鋼管配管などの柔軟性がない配管は、配管側からの過大なモーメント荷重や振動の伝播を受け易いので、フレキシブルチューブなどを介在させて、それらが作用しないようにしてください。
- ⑥ N.C.タイプのオートドレンのドレン排出配管を行う場合は、作動不良を避けるため、配管内径φ4(φ3/16")以上、長さ5m(200インチ)以内のチューブを使用してください。

空 気 源

⚠ 警告

- ① 清浄な空気をご使用ください。圧縮空気中に化学薬品、有機溶剤、合成油、腐食性ガスなどを含まれていますと部品の破損や作動不良の原因となりますので、使用しないでください。
- ② ドレンを多量に含んだ空気は、作動不良の原因となりますので、エアドライヤやアフタークーラなどを製品の入口側に設置してください。

保 守 点 検

⚠ 警告

- ① 取扱説明書の手順で実施してください。取扱いを誤ると、機器や装置の破壊や作動不良の原因となります。
- ② ドレンコックの開閉は手動で行ってください。工具などを使用しますと、破損の原因になります。
- ③ エレメントの交換は、使用后2年間または、使用初期の出口圧力に対する圧力降下が0.1MPaになるまでに行ってください。エレメントの破壊原因となります。
- ④ ドレンの水位がエレメント押さえに達する前に、ドレンコックを開いてケース内のドレンを排出してください。

⚠ 注意

- ① 設定不良や排気漏れが発生したときに応急的処置を行う場合は、バルブシート部を確認して不具合が確認された場合には、不備を処置してください。
- ② 定期的にエレメントを点検し、必要に応じて交換してください。使用時において、出口圧力が通常より低下したり、流れにくくなった場合には、エレメントを点検してください。
- ③ N.C.タイプのオートドレンの場合、無加圧状態では、オートドレンの作動に満たない量のドレンがケース内に残るため、終業前にドレンのマニュアル排出を推奨します。

2. 用途

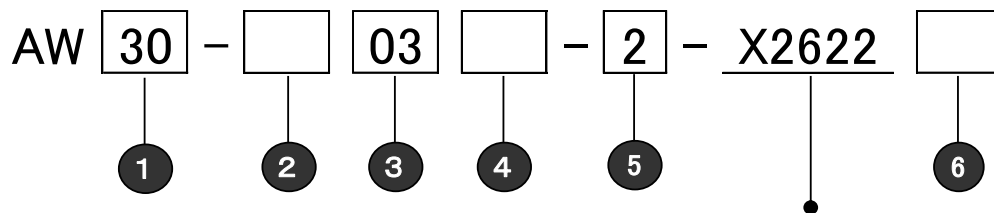
本器は、エアラインの一定量の過飽和水分と固形異物の除去ならびに、圧力制御を目的として使用します。

3. 仕様

型式	AW30-X2622	AW40-X2622
接続口径	1/4、3/8、1/2	1/4、3/8、1/2、3/4
圧力計接続口径	1/8	1/4
使用流体	空気	
周囲温度および使用流体温度 ^{注)}	-40～80℃(凍結なきこと)	
オートドレン付	-5～60℃(凍結なきこと)	
保証耐圧力	3.0MPa	
オートドレン付	1.5MPa	
最高使用圧力	2.0MPa	
オートドレン付	1.0MPa	
設定圧力範囲	0.05～0.85MPa	
ろ過度	5μm	
ドレン貯留量	20cm ³	80cm ³
構造	リリーフタイプ	
質量	1.19kg	3.40kg

注) 寒冷地域および熱帯地域などの環境条件下で耐えられるように、パッキンや樹脂部品などを特殊材料に変更しています。

4. 型式表示方法



- ・外部特定部品材質:SUS316
- ・周囲温度及び使用流体温度:-40~80°C(凍結なきこと)
(オートドレン付を除く)

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ボディサイズ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">30 40</td> </tr> </table>					1	ボディサイズ	30 40
1							
ボディサイズ							
30 40							
2	ねじ種類	無記号	Rc	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		N	NPT	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		F	G	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
+							
3	管接続口径	02	1/4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		03	3/8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		04	1/2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		06	3/4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
+							
4	オプション <small>注1)</small>	a	オートドレン	無記号	オートドレン無し		
				C	フロート式オートドレン(N.C.)		
+							
5	標準 <small>注1)</small> <small>注2)</small>	b	ケース	2	金属ケース		
+							
		c	流れ方向	無記号	流れ方向: 左→右		
				R	流れ方向: 右→左		
+							
6	オプション	無記号	取付オプションなし		<input type="checkbox"/>		
		A	丸形圧力計付(リミットインジケータ無) ^{注3)}		<input type="checkbox"/>		
		B	ブラケット組付		<input type="checkbox"/>		
		C	丸形圧力計付(リミットインジケータ無) ^{注3)} ブラケット組付		<input type="checkbox"/>		

注1) アルファベット(a~c)の各項目毎に1つずつ選択してください。

注2) 複数の記号を選択する場合は、数字,アルファベットの順で若い順に並べてください。

例) AW30-03C-2R-X2622A

注3) 圧力計は同時梱包となり、組付けられていません。

5. 故障と対策

「6. 構造図／パーツリスト」、「8. 分解図」を参照して下さい。

故 障		原 因	対 策
区分	現 象		
圧 力	圧力の調整ができない。	1. 流れ方向に対し、製品が逆に取付けられています。	1. 流れ方向を確認して、逆ならば再取付けをしてください。
		2. 調圧スプリングが折損しています。	2. 調圧スプリングを交換してください。
		3. バルブスプリングが折損しています。	3. バルブスプリングを交換してください。
		4. バルブアセンブリのバルブシート部または、バルブリングに異物が噛み込んでいます。	4. バルブアセンブリを取外し、バルブ、バルブシート部及び、バルブリングを洗浄してください。 なお、洗浄後バルブリング部と摺動部にグリスを塗布してください。
		5. バルブアセンブリのバルブシート部または、バルブリングが損傷しています。	5. バルブアセンブリを交換してください。
	調圧スクリューを緩めても設定圧力がゼロにならない。	1. バルブアセンブリのバルブシート部または、バルブリングに異物が噛み込んでいます。	1. バルブアセンブリを取外し、バルブ、バルブシート部及び、バルブリングを洗浄してください。 なお、洗浄後バルブリング部と摺動部にグリスを塗布してください。
		2. バルブアセンブリのバルブシート部または、バルブリングが損傷しています。	2. バルブアセンブリを交換してください。
		3. バルブスプリングが折損しています。	3. バルブスプリングを交換してください。
流 量	圧力降下が大きく流量が流れない。	4. バルブが固着しています。	4. バルブリング摺動面の洗浄及びグリスアップをしてください。
		1. エLEMENTが目詰まりしています。	1. エLEMENTを交換してください。
エ ア 漏 れ	ボンネットの排気穴からエアが漏れている。	1. ダイヤフラムが破損しています。	1. ダイヤフラムアセンブリを交換してください。
		2. 排気弁のシート部に異物が噛み込んでいます。	2. 排気弁のシート部を洗浄または、ダイヤフラムアセンブリを交換してください。
		3. バルブシート部または、バルブリングに異物が噛み込んでいます。	3. バルブアセンブリを取外し、バルブ、バルブシート部及び、バルブリングを洗浄してください。 なお、洗浄後バルブリング部と摺動部にグリスを塗布してください。
		4. バルブのゴムシート面が損傷しています。	4. バルブアセンブリを交換してください。
		5. 出口側に設定圧力を超える背圧が加わっています。	5. 設定圧力を超える背圧が加わらないようにエア回路の見直しを行ってください。
	ボンネットとボディの間からエア漏れする。	1. ボンネットが緩んでいます。	1. 締め直してください。
		2. ダイヤフラムが破損しています。	2. ダイヤフラムアセンブリを交換してください。
	ケースとボディの間からエア漏れする。	1. ケースパッキンが損傷しています。	1. ケースパッキンを交換してください。 ケースパッキンにグリスアップしてから組付けてください。
	ケースからエア漏れする。	1. ケースが破損しています。	1. ケースアセンブリを交換してください。
	ドレンコックからエアが漏れる。	1. ドレンコックの弁部に異物が噛み込んでいます。	1. ドレンコックを数秒間開いて、ブローしてください。
2. ドレンコックのシート部が損傷しています。		2. ケースアセンブリを交換してください。	
操 作 性 他	ドレンが排出できない。	1. ドレンコックの排出口が固形異物などにより目詰まりしています。	1. ケースアセンブリを交換してください。
	出口側の配管にドレンが異常に出る。	1. ドレンの液面がバツフル以上に達しています。	1. ドレンコックを開いてドレンを排出し、ELEMENTを交換してください。

注) メンテナンス用グリースパックは、「GR-F-***」を推奨します。(表1, 表2参照)

表1. 1台当たりの塗布量

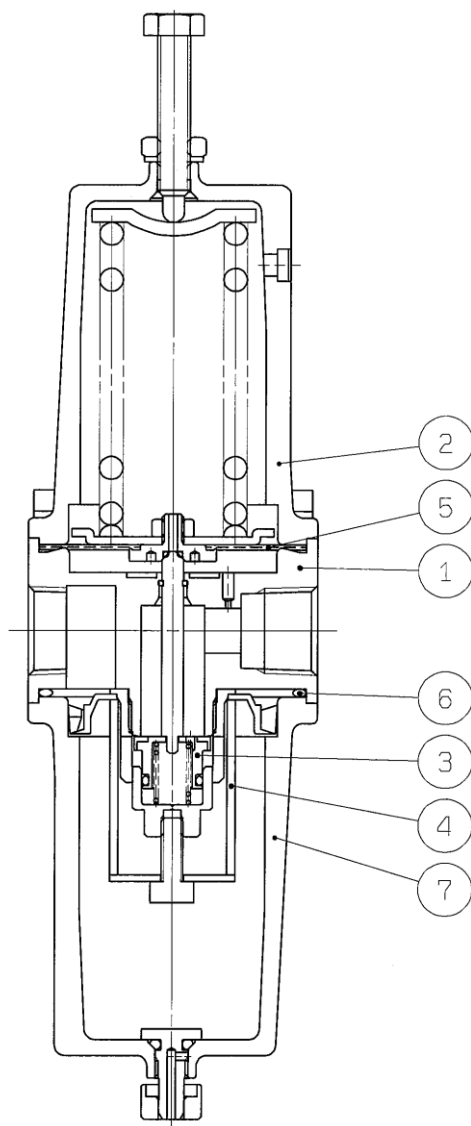
型式	g/台
AW30	0.45
AW40	0.6

表2. グリースパック品番

品番	質量 g
GR-F-005	5
GR-F-050	50
GR-F-100	100
GR-F-200	200
GR-F-500	500

6. 構造図／パーツリスト

1) 構造図



2) パーツリスト

構成部品

番号	部品名	材質
①	ボディ	SCS14A (SUS316相当)
②	ボンネット	SCS14A (SUS316相当)

オプション／交換部品

番号	部品名	ねじの種類	主要材質	部品番号	
				AW30-X2622	AW40-X2622
③	バルブアセンブリ	—	SUS316/低温用NBR	AW30P-340AS-X2622	AW40P-340AS-X2622
④	エレメント	—	SUS316L	AF30P-060S-7-5S	AF40P-060S-7-5S
⑤	ダイヤフラムアセンブリ	—	CR	AR30P-150AS-X2622	AR40P-150AS-X2622
⑥	ケースOリング	—	低温用NBR	KA02964(45.5x2)	KA01714(66.5x2)
⑦	ケースアセンブリ ^{注1)}	—	SCS14A (SUS316相当)	C3SF-2-X2622	C4SF-2-X2622
	フロート式オートドレン ^{注1)}	Rc		AD37-2-X2622	AD47-2-X2622
		NPT		AD37N-2-X2622	AD47N-2-X2622
		G		AD37F-2-X2622	AD47F-2-X2622
⑧	ブラケット	—	SUS316	AR30P-271-X2622	AR40P-271-X2622
⑨	圧力計(丸型)	Rc	—	G43-10-01-X3	G43-10-02-X3
		NPT	—	G43-10-N01-X3	G43-10-N02-X3
		G	—	G43-10-01-X3	G43-10-02-X3

注1) ケースアセンブリ及びフロート式オートドレンには、⑥ケースOリングが含まれます。

注2) 表中の番号は構造図(上記図)の番号、及び「8. 分解図」の番号に一致しております。

7. 交換作業要領

⚠ 警告

交換作業前には、本機器内に圧力が無い事を必ず確認してください。
 交換作業前には、設定圧力は必ず調圧スクリュを左回転(反時計回り)、設定ゼロの位置にしてください。
 交換作業は、「8. 分解図」を参照して行ってください。
 交換作業後は、必ず所定の機能を満足することと外部漏れがないことを確認してから装置を作動させてください。

1) ケースアセンブリ/エレメント

作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
分解	① ケースアセンブリを取外します。 六角穴付ボルト(4本)と、スプリングワッシャ(4個)を取外します。	六角レンチ 呼び AW30 3 AW40 5	—
	② エレメントを取外します。 エレメント固定用六角穴付ボルトを左回転させて、エレメント押さえ、エレメント、デフレクタを取外します。	六角レンチ 呼び:3	—
組付	③ エレメントを装着します。 デフレクタ、エレメント、エレメント押さえを順番にボディアセンブリにセットし、エレメント固定用六角穴付ボルトにて取付けます。	六角レンチ 呼び:3	締付トルク: 0.76±0.08N・m
	④ ケースアセンブリを装着します。 六角穴付ボルト(4本)と、スプリングワッシャ(4個)にてボディに仮締め後、右記締付トルクで対角線上に均等に取付けます。	六角レンチ 呼び AW30 3 AW40 5	締付トルク: AW30 2.35±0.3N・m AW40 4.5±1N・m

2) ダイヤフラムアセンブリ

作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
分解	① ホンネットをボディから取外します。 六角穴付ボルト(4本)と、スプリングワッシャ(4個)を取外します。	六角レンチ 呼び AW30 3 AW40 5	—
	② 調圧スプリング押さえ、調圧スプリング、ダイヤフラムアセンブリの順で取外します。	—	—
組付	③ ボディにダイヤフラムアセンブリ、調圧スプリング、調圧スプリング押さえの順で装着します。 調圧スプリング押さえには組付の方向性がありますので、別紙の「8. 分解図」を参照してください。	—	調圧スプリング押さえの向き
	④ ホンネットをボディに装着します。 ホンネットの凸部(リリーフホートがついた部分)をOUT側にしてボディに装着し、六角レンチで4本の取付ねじを仮締めした後、右記締付トルクで対角線上に均等に取付けます。	六角レンチ 呼び AW30 3 AW40 5	締付トルク: AW30 2.35±0.3 N・m AW40 4.5±1N・m

3) パルプアセンブリ

作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
分解	① パルプガイドを取外します。 ケースアセンブリ及びエレメントを取外した後、パルプガイドのスパナ掛け部にスパナを掛けて、左回転させてパルプガイドを取外します。	スパナ 呼び:7	—
	② パルプスプリングを取外します。	—	—
	③ パルプアセンブリを取外します。	—	—
組付	④ パルプアセンブリを装着します。 ステムアセンブリの凸部とパルプアセンブリのセンター穴が合うように位置決めしてください。	—	ステムアセンブリとパルプアセンブリの位置決め(センター合せ)
	⑤ パルプスプリングを装着します。 パルプアセンブリの穴部にパルプスプリングを挿入します。	—	—
	⑥ パルプガイドを取付けます。 パルプガイドのスパナ掛け部にスパナを掛けて、右回転させてパルプガイドを取付けます。この時の締付トルクは、右記の管理項目を参照してください。	スパナ 呼び:7	締付トルク: AW30 2.35±0.3N・m AW40 3.5±0.3N・m

4) ブラケット

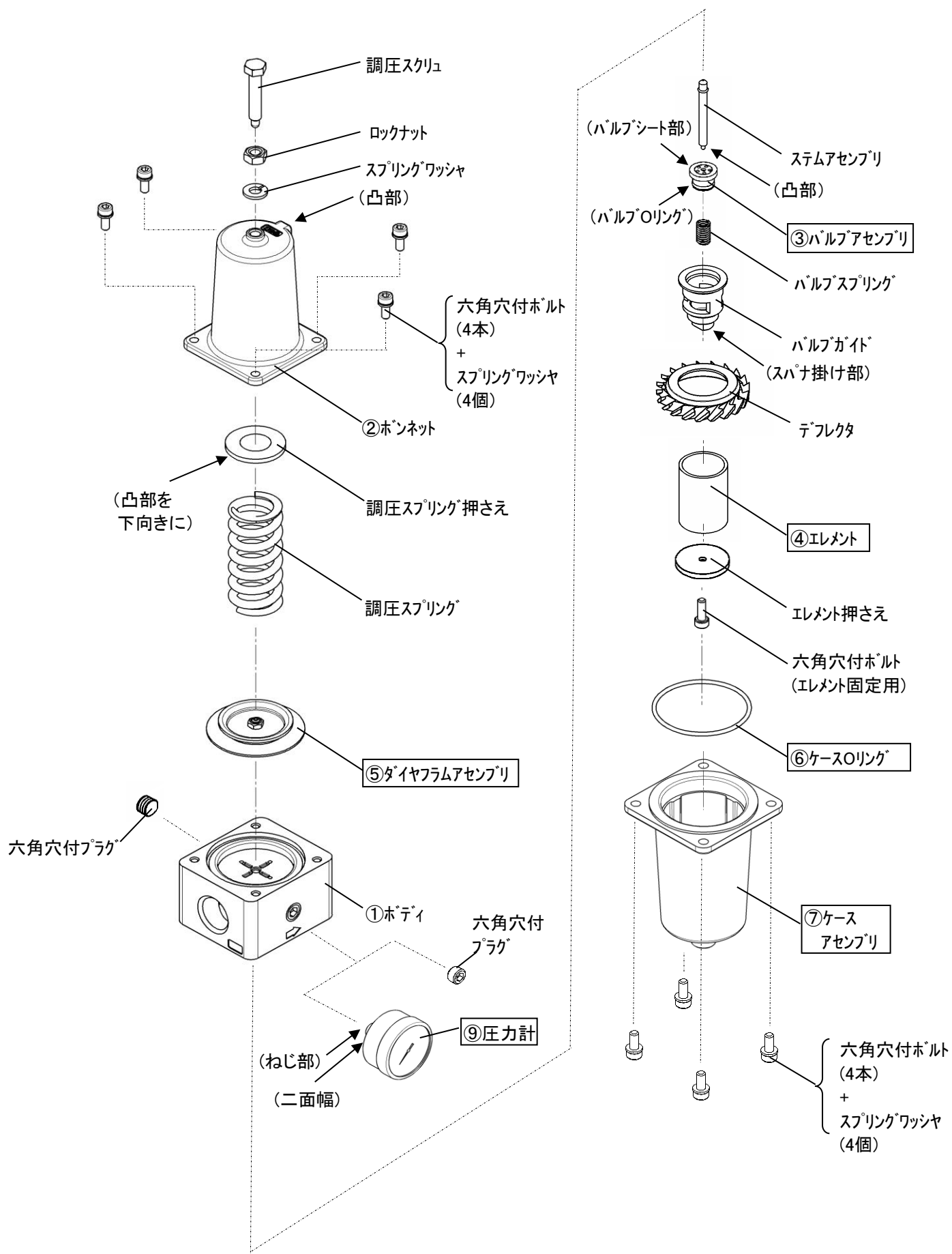
作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
組立	① 製品背面側のボンネットピス {六角穴付ホルト(2本)、スプリングワッシャ(2個)} を左回転させて取外します。	六角レンチ 呼び AW30 3 AW40 5	—
	② ブラケットを製品に装着し、①にて外したボンネットピス2本で取付けます。 「8. 分解図」2)ブラケット 分解図を参照してください。	六角レンチ 呼び AW30 3 AW40 5	締付トルク: AW30 $2.35 \pm 0.3 \text{N}\cdot\text{m}$ AW40 $4.5 \pm 1 \text{N}\cdot\text{m}$

5) 圧力計(丸形)

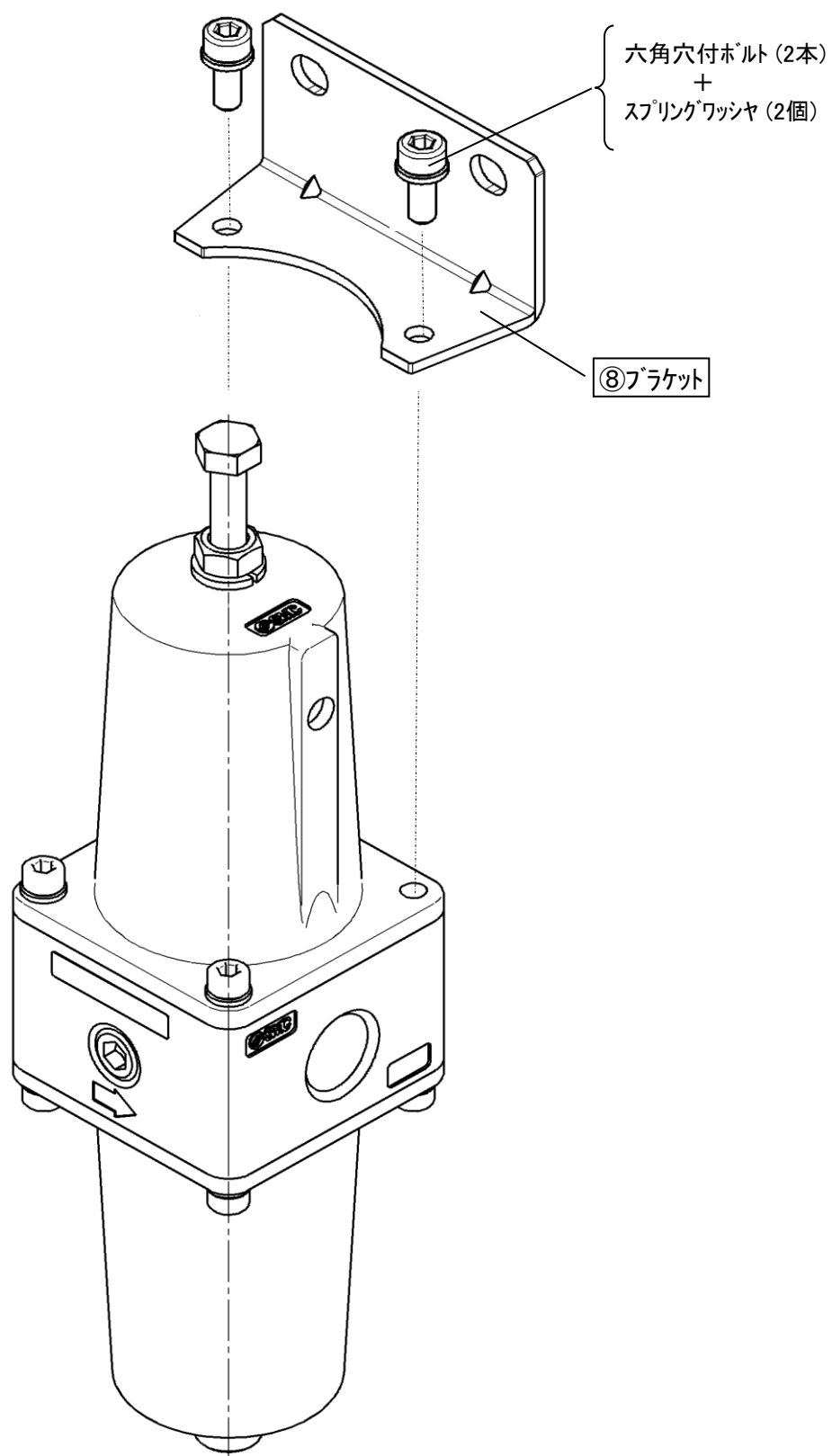
作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
分解	① 圧力計を取外します。 圧力計の取付け用二面幅にスパナを掛けて左回転させて取外します。	スパナ 呼び:14	—
組立	② 圧力計のねじ部にシールテープを巻きます。 シールテープは、圧力計の先端からのねじ山を1山残して巻いてください。	—	シールテープは、ねじ山を1山残して巻かれていること。
	③ 圧力計を取付けます。 圧力計の取付け用二面幅にスパナを掛けて右回転させて取付けます。圧力計の締付トルクは、右記管理項目の値を参照ください。	スパナ 呼び:14	締付トルク: AW30 $3 \sim 5 \text{N}\cdot\text{m}$ AW40 $8 \sim 12 \text{N}\cdot\text{m}$

8. 分解図

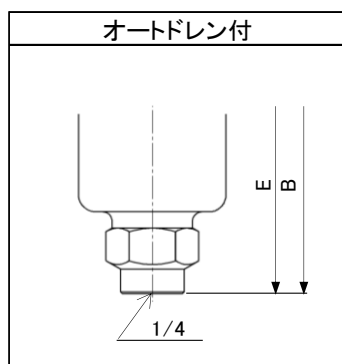
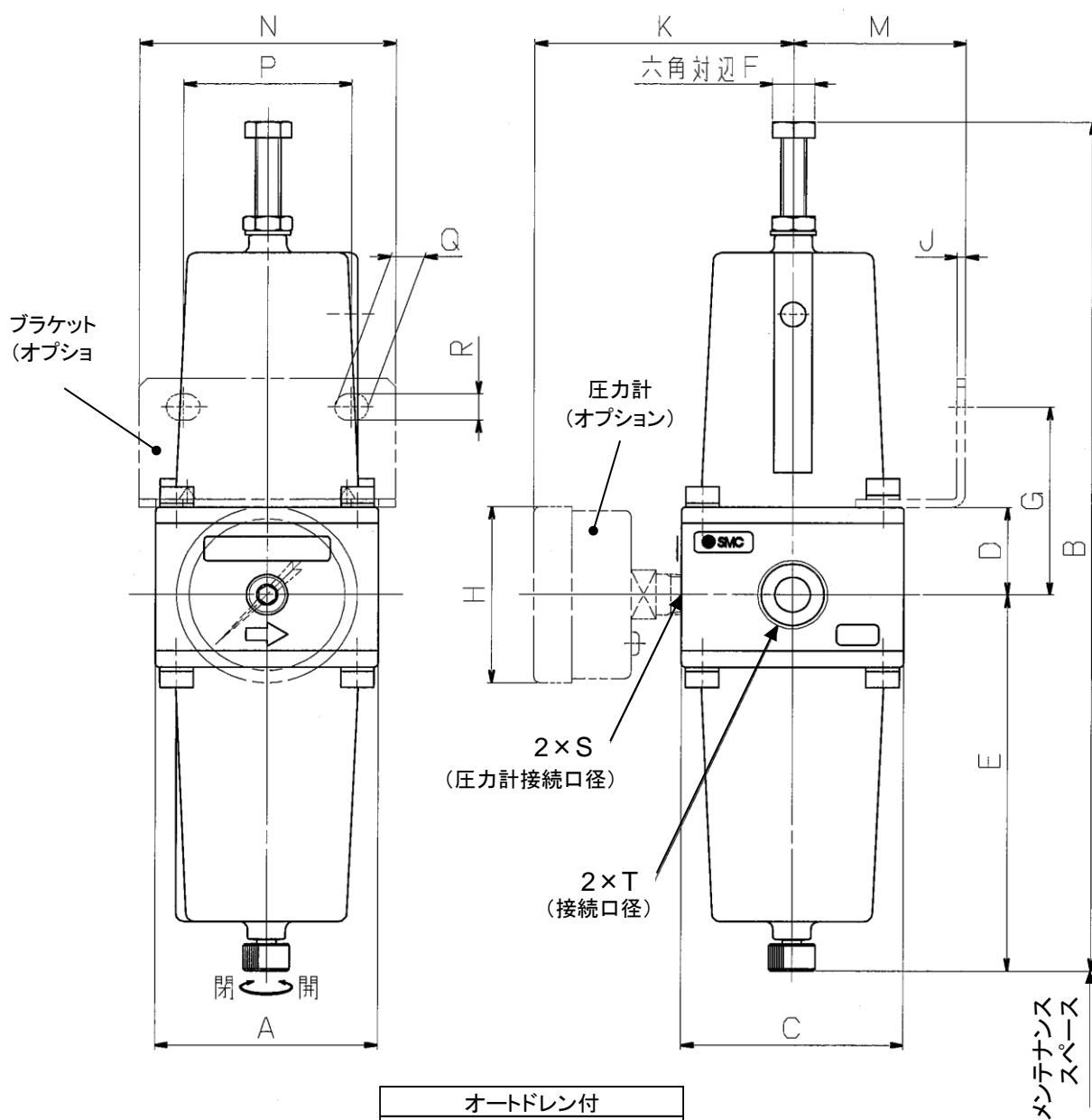
1) 本体 分解図



2) ブラケット 分解図



9. 外形寸法図



外形寸法

型式	T	S	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	M
AW30-X2622	1/4, 3/8, 1/2	1/8	53	207.7	53	21.1	92.1	10	45.7	φ43	2	65.5	40.5
AW40-X2622	1/4, 3/8, 1/2, 3/4	1/4	75	334	72	29.8	146	13	56	φ43	2.5	75	50

型式	N	P	Q	R	オートドレン付		メンテナンス スペース
					B	E	
AW30-X2622	61	40	8	6.5	250.1	134.5	40
AW40-X2622	80	54	10.5	8.5	361.6	173.4	70


改訂履歴

- A: エlement品番訂正 '17年11月
- B: 配管: 注記④追加。ボンネット、ケース取付
ビスの締付トルク修正。外形寸法見直し。
'19年7月
- C: 選定: 注記③修正、交換作業要領; ケースアセ
ンブリ/Element作業手順②, ③変更。
'21年5月
- D:
追加: 適用品番(AW30-04-X2622)、オートレイン用注記
推奨グリスパック品番
変更: 安全上のご注意内容変更(P2, 3)、
推奨締付トルク変更(配管③, 交換作業要領
圧力計③)、型式表示変更
'24年3月

SMC株式会社 お客様相談窓口

URL <https://www.smcworld.com>

本社/〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDX 15F

 **0120-837-838**

受付時間/9:00~12:00 13:00~17:00【月~金曜日, 祝日, 会社休日を除く】

④ この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

© Corporation All Rights Reserved